

何かを得るためには、別の何かを…あきらめちゃダメ!

天海祐希

City シティセレクション Selection

取材の2日前、40歳の誕生日を迎えた天海祐希さん。30代最後に撮影した映画出演作が10月6日(土)公開の「サウスパウンド」。

「年金を払うくらいなら、国民をやめる」と豪語する破天荒な父・上原一郎(豊川悦司)を支える妻・さくらを演じている。ともに学生時代に過激派として鳴らした夫婦、今なお反体制を貫く一郎。父にほんろうされながらも、従う子どもたち。そんな家族が巻き起こす、おかしみとせつなさが静かな感動を呼ぶ作品だ。

「この映画は、生きざまを貫く父、夫婦、家族の物語なんです」と天海さんも言うように、信念を曲げないがゆえに、世間と衝突する上原家。東京に見切りをつけて、沖縄に移住をするが、ここでもまた騒動が…。

自分たちの生きざまを貫く上原一家は潔くカッコイイ。天海さん自身に通じなくもない。

「私自身、信念は揺らがない。もちろん、迷うことはあります。そんなときは、数年後の自分を考えるんです。今、自分にとってラクな方に流れていったとして、何年後かの自分がこの選択をどう思うか…。最初に感じたことって、大事にしなきゃ。

ただ、人に会っているんなら価値観に出合ううちに、自分の間違いに気が付くこともある。そしたら変えればいい。人はいつでも変われます」

凛(りん)として潔く、ハンサムな天海さん。“上司にしたい女性”としてもよく名前が挙がる。一足先に40歳を迎えた“上司”が、シティ読者にメッセージをくれた。

「日本の女性は頑張ってるんです。でも、男性や社会が付いてこなかったり、大変なことも多い。何かを得るために、別の何かをあきらめる…なんてこともあるよね。でもね、どっちもあきらめちゃダメ! 女性が



撮影/星元、文/猪俣沙織(編集部)、ヘア&メイク/林智子、スタイリング/えなみ真理子
ブラウス8万2950円(アレグリ/サン・フレール)、ネックレス49万6000円(Ugo Cacciatori / HIRAO INC)

あきらめず、パワフルになれば、日本はもっと華やかになるはず。私も40歳になったけど、みなさんに共感してもらえるような、お手本になれるといいなと思う。そのためにも、いつもハツラツとしていたい。もちろん、いつも美しく(笑)」



「サウスパウンド」10月6日(土)公開。
新宿ガーデンシネマほかでロードショー
©2007「サウスパウンド」製作委員会

プロフィール

1967年8月8日東京都生まれ、O型、身長171cm。87年宝塚歌劇団入団、93年歌劇団史上最短にして月組男役トップ就任、歌劇団屈指の観客動員数を誇る。95年12月退団。96年女優として活動。ドラマ「離婚弁護士」「女王の教室」「トップキャスター」「演歌の女王」、映画「千年の恋〜ひかる源氏物語〜」「世界の中心で愛をさけぶ」「パッテリー」、舞台「オケビ!」「阿修羅城の瞳」など幅広く活躍。11月には、ミュージカル「テイク・フライト」(演出・宮本亜門)で主役の女性パイロットを演じる。